



＜松久 秀樹（まつひさ ひでき）＞

国、地域：スペイン・バルセロナ

年 齢：53歳

現 職：Koy Shunka オーナーシェフ
Grupo Koy 代表
日本食普及の親善大使

○27年にわたりスペイン及び欧州で日本食の普及に貢献

- ・ 1998年 バルセロナの日本食レストランで調理師として従事
- ・ 2001年 「Shunka」 開店
- ・ 2008年 「Koy Shunka」 開店
- ・ 2012年 （一社）全日本・食学会 理事就任、海外部会長を兼任
- ・ 2013年 ミシュランガイドスペインにて日本人初となる一つ星を獲得
- ・ 2015年 「Koy Hermitage」 開店
- ・ 2016年 「Majide」 開店
- ・ 2017年 日本食普及の親善大使に就任
- ・ 2021年 「IKOYA Izakaya」 開店
- ・ 2025年 在バルセロナ日本国総領事館 公館長表彰受賞

2001年にバルセロナで初の店舗「Shunka」を開業、2008年には「Koy Shunka」をオープンし、2013年、「Koy Shunka」が日本人として当地初のミシュラン一つ星を獲得。これを契機に伝統的な日本食文化が当地に定着し、2001年に約20店だったカタルーニャ州の日本食レストランは、現在320店超に拡大。複数の当地有名シェフが松久氏の日本食のファンとなり、彼らの推奨も日本食の地位向上に寄与した。

2017年、「日本食普及の親善大使」に就任。テレビ番組や新聞の特集に積極的に登場するとともに、スーパーマーケットの寿司等を監修するなど日本食の家庭向け普及にも貢献。「和食」「日本酒」のユネスコ無形文化遺産登録の関連事業やジェトロ・在外公館の取組に協力し、広報面での助言も行った。

後継者育成に注力し、自身の店舗や当地料理学校でスペイン人料理人を指導し、日本食の「職人」を育成するほか、欧州の和食大会では審査員も務める。弟子の中からの開業者も増加し、現在、スペイン全体で日本食レストランは800店を超えるに至り、良質な日本食を提供する店の層が厚みを増している。